

3年目は、こんな活動をしました。
ご参加・ご協力ありがとうございました！！

(9)子どもの健全育成に関わる事業

「ジム☆キッズ」 幼児の体育指導

今年は、幼児 13 名が参加しました。そのうちの 2 名が、戸隠地区からの参加でした。毎週火曜日の午後 4 時から通年開催し、通算 48 回行いました。
マット運動・縄跳び・鉄棒・ボール投げ etc
最後は、跳び箱 8 段に挑戦！チャレンジ大会を行い、成果を発表しました。

(8)農林業を介した都市農村交流事業

「田んぼくらぶ」 田んぼオーナー

休耕になっている田んぼを利用して米づくりを体験していただきました。参加したオーナーさんは 8 組でした。そのうちリーダーは、2 組。
稲刈りは、あいにくの雨になってしまいましたが、オーナーさんとの交流会に変更して、ゆっくり食べたり飲んだり、たくさん来てくれた子どもたちは、理事長宅の座敷を飛び回っていました。今年も豊作に恵まれ、おいしいお米を食べていただく事ができました。

(3)自然を活用した環境教育事業

「間伐材を利用した木工教室・キノコの駒打ち体験in鬼無里小学校・鬼無里中学校」

小学校全員と中学1年生が、間伐材を利用してマイ箸づくりに挑戦。ノミやカンナで削り、紙やすりで磨き、仕上げにクルミの油を何回も塗りました。自分で作った箸を自慢げに見せ合っていました。中学校全員で去年菌を打ったきのこがたくさん収穫でき、先生方にも買っていただき、生徒会活動資金に役立てました。

(5)遊休農地や里山等の再生・活用事業

「さつきさんと麦作り」

高齢のためにタバコづくりができなくなった米山さつきさんをお手伝いして、麦を栽培しました。起耕作業や種まき、収穫はまめってえで行い、雑草の刈取りなどをさつきさんがしてくださいました。収穫した小麦粉は、会員の皆さんに配布させていただきました。さつきさん調理された方々からは、とてもおいしかったと感想をいただきました。

(7)地産地消及び食育に関わる事業

「きなさのごはん」

きなさのごはんでは、鬼無里のその季節にある食材を工夫し食べつくします。今年は、春と冬の 2 回ランチ会を開催しました。春のランチ会では、山菜ピザを会員の中村さんの石釜を使って焼きました。冬のランチ会では、鬼無里の小麦でうどんを打ちました。小麦の品種の違いや使い分けについて学びました。述べ 104 名の方が、参加してくださいました。

(4)自然環境の保全に関わる調査研究、啓発活動

「きなさごもち」 JSTプロジェクト

この研究も終盤を迎えました。地域 commons の活動として、4 回の「食の文化祭」を開催。
地域の文化・伝統・祭・行事食等について学びました。また、地域に根ざした再生可能エネルギーの利用による地域の活性化にも取り組み、小水力発電や木質バイオマスのポテンシャル調査を行いました。

(5)遊休農地や里山等の再生・活用事業

「薪の供給体制整備事業＝鬼無里薪ステーション」

里山の間伐材を薪に変えることによって、環境整備を行い自然エネルギーに変えていく取り組みの、体制づくりを行いました。森づくりの大切さや資源利用について学び、放置されている里山を整備するための拠点づくりができました。薪というシンプルなエネルギーを利用することによって、地域のエネルギー自給率を高めていければと考えています。山主と薪生産者そして利用者、この三者を結びつける大切な仕事と考えています。また、新たな雇用づくりができればと思います。

◎ 太陽と生命をつなぐ
「田んぼくらぶ」「きなさのごはん」「さつきさんと小麦作り」「キノコと木工教室」「薪ステーション」「JSTの食の文化祭と環境保全活動」「子どもの健全育成」など全ては、乱雑さ（エントロピー）が少ない太陽光の「生命維持」利用に関連します。安倍首相は TPP 参加、「貴方をつくる人、お金あるから、私食べる人」を決めました。太陽光の役割が理解できない彼に我々（日本）の運命まかせますか？「理事長 大日方聡太」

平成25年3月15日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1

